

| | | | | | |
|-----|----------------|------|-------|------|-----|
| 科目 | 画像診断学 | 担当 | 安倍 基幸 | 履修学年 | 3年 |
| 時間数 | 90分×時限×8回(週1回) | 履修区分 | 選択 | 単位数 | 1単位 |

【授業目標・到達目標】

医療における画像診断は有益であるが内容は膨大である。膨大な画像診断の中からリハビリテーション医療に関連があるところを重点的に講義する。授業目標は「画像」を通して各疾患の病態を理解してもらうことである。教科書にそって演習的な授業を行う。到達目標は画像の種類、画像の部位を判別し、頻度の高い疾患ではおおよその画像診断ができるようになることである。またリハの臨床現場でエコーは活用されており重要なツールである。時間が許せば実際の機器を使用し供覧する。

【履修注意】

講義予定内容や順番が変更される場合もある。受講者は遅刻や授業中の私語は無いようにする。

【評価方法】

筆記試験に加えて、出席状況、受講態度を総合して行う。

【試験について】

筆記試験をおこなう。試験の受験資格は出席2/3以上とする。

再試験対象者の条件：成績が60点未満の者

【予習・復習】

予習は要しないが、復習は要する。重要なポイントを毎回列挙するのでそこを重点的に学習する。

【教科書】

「PT・OTのための画像診断マニュアル」百島祐貴,医学教育出版社

【参考書】

特に指定はしない。参考書は講義で適宜紹介する。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

| 回数 | 項目 | 内容 |
|----|-----------------|---------------------------|
| 1 | 画像診断の基礎, 頭頸部疾患1 | 各種画像診断特性と基礎と頭頸部の画像診断 |
| 2 | 頭頸部疾患2 | 頭頸部疾患のCT,MRI,SPECT,CT,MRI |
| 3 | 脊髄・脊椎1 | 脊髄・脊椎疾患のX線,CT,MRI(外傷) |
| 4 | 脊髄・脊椎2 | 脊髄・脊椎疾患のX線,CT,MRI(外傷以外) |
| 5 | 運動器疾患1 | 運動器疾患の画像診断(外傷) |
| 6 | 運動器疾患2, 胸腹部疾患 | 運動器疾患の画像診断(外傷以外)と胸腹部の画像診断 |
| 7 | エコー診断の基礎 | エコー画像診断・運動器,血管 |
| 8 | 定期試験 | 1～7コマの復習・確認・まとめ |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| 16 | | |